

平成 23 年 6 月 30 日

各 位

株式会社 大和証券グループ本社

鹿児島銀行が「ウォーター・ボンド」を購入 ～債券投資を通じてアジア・太平洋地域の水問題解決に貢献する～

このたび、大和証券グループのアレンジにより、株式会社鹿児島銀行（本社：鹿児島県鹿児島市、頭取：上村基宏、以下「鹿児島銀行」）は、アジア開発銀行（Asian Development Bank、以下「ADB」）がアジア・太平洋地域の開発途上国向けに行っている水資源関連政策を支援するため、下記のとおり ADB が発行する債券「ウォーター・ボンド」への投資を行いましたのでお知らせします。

記

1. 投資の背景

鹿児島銀行は、かねてより「鹿児島銀行環境方針」を掲げて環境問題に取り組んでいる地方銀行です。また、鹿児島銀行の推進するアグリクラスター構想の一環として、南九州とアジア地域との取引拡大に向けた戦略的な取り組みも行っています。

アジア地域は世界の中でも急成長をとげている地域ではありますが、一方で急成長に伴い環境問題や水資源問題も懸念されており、一段の経済成長のためには環境問題・水資源問題の解決は避けて通れない問題となっております。

そこで鹿児島銀行は、ADB がアジアの貧困国・開発途上国向けに行っている水資源関連政策を支援するため、ADB が発行するウォーター・ボンドに投資することとしました。

本投資は、鹿児島銀行の地域における CSR 活動や環境保全活動の延長線として、ADB を通じて ADB の上下水道整備や水質汚染などの環境問題改善事業に投資するものであります。

今回のウォーター・ボンドについては、発行総額 1,000 万米ドル全額（約 8 億円相当）を鹿児島銀行が購入しております。引受けディーラーには、大和証券グループのホールセール証券会社である大和証券キャピタル・マーケット株式会社指名され、発行のアレンジを担当しました。

大和証券グループは、社会的な視点を持った金融商品の開発・販売に注力しています。水問題をはじめ、貧困や気候変動などの社会的課題の解決には莫大な資金が必要とされており、資本市場を通じた民間資金の活用が不可欠というのが世界の共通認識になっています。このたび、九州を代表する地方銀行である鹿児島銀行が、ADB ウォーター・ボンドへの投資を通じて、深刻さを増すアジア・太平洋地域の水問題への取り組みに寄与されることで、長期的かつ社会的な視点を持った投資の裾野が一層拡大する契機になると期待しております。

大和証券グループ

2. 投資債券「ウォーター・ボンド」の内容

発行体	アジア開発銀行 (Asian Development Bank : ADB)
発行総額	1,000 万米ドル
受渡日	2011 年 6 月 29 日
期間	3 年
格付	Aaa (ムーディーズ) ※ / AAA (スタンダード&プアーズ) ※ ※金融商品取引法第 66 条の 27 の登録を受けていない者が付与した格付 (無登録格付) です。
資金使途	アジア・太平洋地域の開発途上国におけるさまざまな水関連プロジェクトに活用し、ADB の統合的な水資源管理政策「Water for All」を支援。

■ 大和証券グループについて

大和証券グループは、1902 年創業の日本を代表する独立系総合証券グループです。グローバルなネットワークにより、世界中の顧客に対し資産形成や企業活動の支援といった金融サービスを提供し、社会及び経済の発展に貢献しています。主要な事業は、エクイティ、債券、デリバティブおよびその他金融商品の開発・提供、エクイティ・債券等の引受業務、M&A をはじめとするアドバイザー業務に加え、アセットマネジメント業務や投資業務です。また、2011 年には銀行業に参入しています。

大和証券グループの営業拠点は、日本をはじめ、米国、欧州、およびアジア・オセアニア地域に広がっています。世界中に約 16,000 人の従業員を抱え、顧客からの預り資産残高は約 43 兆円、グループのアセットマネジメント会社 2 社の運用資産残高は合計で約 14 兆円です。リテール事業を行う大和証券では 120 の店舗網、約 340 万件の顧客口座数を有し、ホールセール事業を行う大和証券キャピタル・マーケットでは 21 の国と地域に拠点を有しています。(数字は全て 2011 年 3 月末現在)

以 上